

- 平成28年度「くまもと教育の日」県民フォーラムを開催しました！
【教育政策課】 P 1

県教育委員会では、「くまもと教育の日」の取組の一環として、10月30日（日）に県民フォーラムを開催しました。

フォーラムでは、各種表彰式、手話スピーチ、兵庫県 震災・学校支援チーム（EARTH）による講演を実施しましたので、その概要を紹介します。

- もっと本を好きになろう！～肥後っ子いきいき読書アドバイザー事業～
【社会教育課】 P 2

「子どもたちの興味をひく本の並べ方は？」「読み聞かせがもっと上手になりたい・・・」、このような疑問や悩みはありませんか？学校等に読書アドバイザーを派遣し、さまざまな悩みに答えます。

今回は、その取組を紹介します。

- 平成28年度の熊本県体力向上優良校&優秀実践校が決定しました。
【体育保健課】 P 3

子供の体力向上に取り組み、顕著な成果を収めている県内の公立小・中学校（熊本市を除く）、県立高等学校及び特別支援学校を平成19年度から表彰しています。

本年度、体力向上優良校と優秀実践校に選ばれた学校を紹介します。

- 天草市立久玉小学校児童5・6年生を対象に文化財を活用した公開授業を実施
【文化課】 P 5

11月28日（月）に文化財を活用した授業を天草市立久玉小学校で実施しました。県指定史跡「久玉城跡」のフィールドワークを中心とした授業の内容を紹介します。

- 子どもたちのために一生懸命な先生方。あなた自身は大丈夫ですか？（その3）
【福利厚生室】 P 6

忙しい日々の中でも「自分のストレス状態を知り」「自分を労わる時間」を持つことは大切です。

今回は、公立学校共済組合 九州中央病院から、最近注目されているストレス対処法「マインドフルネス」について寄稿がありましたのでご紹介します。

- 学校の取り組み
○海外研修の経験から、未来の自分を探る
【県立翔陽高等学校】 P 8

翔陽高校2年生 海外インターンシップ参加体験の成果を報告します。

進路目標が見えなかった生徒が海外研修を経験し、地域発展のために頑張りたいと考え始めた今の姿をお伝えします。

○震災復興UTO『轟』プロジェクト～人文字に感謝を含めた様々な交流～
【県立宇土高等学校・宇土中学校】 P 1 1

熊本地震にともない中止となった体育祭に代わって、地震後に福島県をはじめとする全国各地からいただいた支援や激励に対する感謝を含めて、全校生徒で、人文字によるメッセージを作成し、ドローンで撮影しました。その模様をDVDに編集し、支援や激励をいただいた全国各地や韓国で交流している高校などに感謝を含めて届けました。

○ICT活用で活発な授業を！
【県立玉名高等学校附属中学校】 P 1 3

「未来の学校」創造プロジェクトの研究指定における取り組みの紹介。特色ある3つの授業を紹介。

○「小学生エンジョイプラン」ものづくりをとおした高校生と小学生の交流
【県立御船高等学校】 P 1 4

仮校舎で学習している小学生を元気にする目的で、電子機械科の3年生が取り組んだ、ペットボトルロケットと紙飛行機の製作会、及び自ら作った作品で、飛距離を競い合う大会の様子を紹介します。

○「鹿本商工ら（カモトショコラ）」～ 世界中に笑顔を ～
【県立鹿本商工高等学校】 P 1 6

本校の商業科と情報管理科の生徒が、フェアトレード産品チョコレート（コートジボワール産カカオ豆）と山鹿産の米粉を使って、地元の洋菓子店と共同でクラシックショコラを開発しました。フェアトレードの取組が広がることを目指します。

○「光プロジェクト」光が繋ぐ絆の“わ”～ 商業の「華」 工業の「技」～
【県立鹿本商工高等学校】 P 1 7

山鹿を元気にしたいという思いから、生徒たちが学んだ知識や技術を生かして「光プロジェクト」に取り組みました。光のモニュメントを設置したり、プロジェクションマッピングを実施したりして、地域の方々からも喜んでいただきました。

○Study Tour in Singapore
【県立水俣高等学校】 P 1 8

本校SGH事業の大きな取組である海外研修として、生徒8名によるシンガポール視察研修を実施しました。

現地ではアジアトップのシンガポール国立大学生との交流や先進的企業の視察をはじめ、英語をツールとして環境政策や多文化社会等について学ぶことができました。

○作業製品を仮設住宅で過ごされている方にプレゼントしよう！
【県立大津支援学校】 P 1 9

熊本地震後に本校高等部の生徒たちが、被災された方に元気になってほしいという思いで、心を込めて製作した作業製品をプレゼントしました。

○授業実践を通じた一人一人の教育的ニーズに応える教育課程の創造
【県立菊池支援学校】 P20

本校では、平成27年度より「根拠のある教育」をキーワードとして新たな教育課程の創造を目指した実践研究に取り組んでおり、その中間報告と位置づけた公開研究会を10月29日（土）に開催しました。
今回は、当日の全体会で報告したこれまでの研究成果について紹介します。

○「働く大人に育てるために」～家庭と学校の協働をめざした進路だよりの改善～
【県立荒尾支援学校】 P22

障がいのある児童生徒に対する「勤労観」の育成に当たっては、他者の「役に立つ」具体的な体験を早期からたくさん積み重ねる必要があります。これに重要な役割を果たすのが家庭であり、家庭・学校は、連携協働してキャリア教育を推進する必要があります。そこで本年度本校では、家庭に向けた啓発活動に特に力を入れてきました。本記事ではその手段としての進路便りをどのように改善し、どのような評価を受けているのかをお伝えします。

○「学生との楽しい音楽発表」～歌唱、器楽を熊大学生とコラボレーションして～
【県立荒尾支援学校】 P24

本校小学部一般学級は、大好きな音楽を週時間割に位置づけ、歌ったり楽器を演奏したりして、音楽の面白さや良さ、美しさを感じ取っています。より豊かな音楽活動にするために、昨年度から熊本大学の学生とコラボレーションした音楽活動に取り組んでいます。2年目を迎えた今年度は、計画段階から本校、熊大学生双方の意見を出し合いながら素晴らしい発表会（小学部一般学級の行事）を目指して取り組み、合同練習の回数も増やし当日に臨みました。また、スクールコンサート（学校行事）でもその取組を披露しました。

○「障がい」スポーツから「生涯」スポーツへ
【県立小国支援学校】 P26

「将来にわたる豊かなスポーツライフの形成」を目指し、日頃から体育の授業や、放課後の活動として取り組んでいることが、学校だけでなく、地域社会にも拡がり、生徒たちが卒業した後のスポーツライフが定着・具現化しつつある様子を紹介します。

○消防団、区長さんらと一緒にコミュニティ・センターまで避難訓練！
【県立天草支援学校】 P27

防災リュックを背負った子ども達は地域の消防団や区長さんらに見守られ、コミュニティ・センターまで避難訓練を行いました。地域の力を防災の取組に生かした実践の第一歩を紹介します。

○重度重複障がいのある児童生徒から学ぶ～公開授業研究会の取組～
【県立苓北支援学校】 P29

重度重複障がいのある子どもの学びを支え、導いていくために必要なものは何かを考え、発信する機会として公開授業研究会を開催しました。授業研究会では、講話や演習を通して、重い障害をもつ子どもとかわる時の基本姿勢や「学習のつまずき」に対する指導方法の導き方について考えることができましたので紹介します。

○築き上げた伝統と社会へと繋がる一本のたすき~高校駅伝大会参加の取組報告~
【県立ひのくに高等支援学校】 P 31

「日頃の取組の成果を同じ高校生の大会で発揮してほしい」そんな職員の思いから始まった高等学校駅伝大会出場も今回で12回目となりました。高等学校駅伝大会への出場に焦点をあて、ひのくに高等支援学校での取組を紹介します。

●くまもと文学・歴史館企画展「上妻文庫展—上妻博之が遺したもの—」
【県立図書館】 P 33

熊本県立図書館の所蔵「文庫」を紹介するシリーズ企画第一弾。平成29年は上妻博之没後50年の節目の年にあたり、上妻博之（こうづままさゆき）がのこした「上妻文庫」を紹介します。

上妻博之は、熊本県の歴史及び植物研究に多大な功績をのこしました。歴史では熊本近世史の会の発足の支援をしました。植物では現在の熊本記念植物採集会を立ち上げました。歴史、植物共に現在までその活動と精神は受け継がれています。

展示では上妻氏の活動の軌跡と筆写した約440点の「上妻文庫」の一部を紹介します。

●細川コレクションⅢ常設展示「細川家の大名道具と雛飾り」を開催します
【県立美術館】 P 34

熊本県立美術館では、第2次改修工事による休館が2月10日に終了し、2月11日（土）より、別棟展示室にて細川コレクションの常設展示をスタートします！

●2月「装飾古墳館 event」のご案内
【県立装飾古墳館】 P 35

2月、山鹿市の山鹿灯籠浪漫・百華百彩に連動して、古墳館でも「fun!ふあん!ファン!古墳館で楽(ふあん)まつり」を開催します。県内外の博物館をお招きする、この時だけの特別体験イベントです。

その他、この冬も企画展やイベント盛り沢山です。

●今回の新学習指導要領改訂を担当した文部科学省課長の特別講演！
【県立教育センター】 P 37

教育センターと研究協力校で公開授業と研究会を行います。午後からは新学習指導要領を担当した文部科学省課長の特別講演を行います。